

昨年8月安曇村誌のための調査で斉藤定美氏の車に便乗して安房峠からスーパー林道を白骨温泉に向かって走行中安房山の中腹で本雑種とみられるもの2株を見つけた。付近にはノリクラアザミが多く、100mほど離れたがれ場にはフジアザミの群落があった。斉藤氏と共にこれを見て安心した。

(9) オンタケブシを見る

オンタケブシは明治43年に小泉源一博士が御岳で発見したもので、標本は東京大学にあって私も前川博士のご好意で、これを拝見し葉の輪郭だけはノートにとってある。昭和23年には田村道夫博士も採って標本は京都大学にあるという。この両氏の他にこれを見たという話は聞こえず、私も長年注意してきたが幸運に恵まれなかった。

ところが1昨年木曽郡南木曽町にトリカブトの1種があると聞き今井建樹氏と共に同町上野原に赴き

海拔60cmの古根丈弘氏の竹藪の縁に1群のトリカブトを見た。葉が大きく今まで見たことのない葉形であった。これを門田祐一博士に送って、これがオンタケブシとの回答を頂いて、御岳から離れたこんな低い所にと驚き喜んだ。

古根氏の話では同町の与川にトリカブトを栽培している人があるとのことで、昨年同氏の案内で、そこを訪れた。広い畑ではなかったが栽培し切花として名古屋へ出荷しているとのことであった。これを門田博士に報告すると遠路わざわざ来県し、これを観察された。これは付近の山中で採り株分けして3年間で殖やしたものとのことであった。

その後NHKテレビにトリカブトの1種を栽培している広い畑が放映されたが毒草でも花の形が珍しく色が濃いので観賞されるのであろうか。門田博士に深謝申しあげる。

[植物ニュース]152. ケヤキ *Zelkova serrata* Makino

東筑摩郡四賀村会田小学校の南斜面は、急傾斜地災害予防工事が始まり、7本のケヤキの大木が伐採された。その内5本の年輪等が調べられたので報告する。(長さの単位は cm)

No.	年輪数	長 径	短 径	幹 囲
1	130	89	73	263
2	87	59	45	143
3	145	91	84	278
4	75	89	54	217
5	66	49	47	157

1990年3月21日調査 (横内文人・横内正)

[植物ニュース]153. モウズイカ *Verbascum blattaria* L.

欧州～北アフリカ原産の帰化植物である。1990年7月8日 PTA 研修旅行の折、長野市松代町西条の地震観測所近くの路傍で採集した。これは、長野県下2例目の採集である。1例目も筆者が1989年8月4日に東筑摩郡四賀村会田で採集している。

(横内文人)

[植物ニュース]154. キクタニギク *Chrysanthemum boreale* Makino

本種は、美しい黄花を咲かせる。県内分布は諏訪と千曲川水系である。勤務校の遠足の折に採集した。1990年10月18日に現地を訪れたが、株数も増加している。犀川水系では初の記録である。

採集記録：1988年10月19日、東筑摩郡四賀村執田光。(横内文人)

[植物ニュース]155. ホザキヤドリギ *Hypochaeris tanakae* Hosokawa

松本市開明小学校校地内のシラカンバに寄生している。1990年7月10日、同校の清水隆夫教諭より生標本を恵与された。本種は全県的に報告されているが、その産量は極く少ない。清水氏に感謝します。

(横内文人)

[植物ニュース]156. シロバナムラサキウマゴヤシ *Medicago sativa* L. f.sp.

本種は、欧州原産の帰化植物で、花は淡紫色である。この白花品を採集した。1990年9月2日、松本市山田。(横内文人)

[植物ニュース]157. セイヨウオオバコ *Plantago major* L.

欧州原産の帰化植物である。オオバコに比べて大型で花穂は柄とともに30～60cmある。種子は、1果中に8～10個ある。今まで県下各地の植物目録でトウオオバコ *Plantago major* var. *japonica* Miyabe と報告されているものとの比較検討が必要である。県下初採。1990年7月30日、東筑摩郡四賀村反町。なお同所には、紫花と白花がある。

シロバナムラサキウマゴヤシ、セイヨウオオバコ、ホザキヤドリギ等についてご教示いただいた神奈川博物館の高橋秀男氏に感謝します。(横内文人)

[植物ニュース]158. シロバナガガイモ *Metaplexis japonica* Makino f. *albiflora* Honda

ガガイモの白花品である。県下初採。母種の花は淡紫色である。1990年9月8日、東筑摩郡四賀村落水。(横内文人)